【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公開番号】特開2004-70955(P2004-70955A)
【公開日】平成16年3月4日(2004.3.4)
【年通号数】公開・登録公報2004-009
【出願番号】特願2003-282297(P2003-282297)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　５２０Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月24日(2006.7.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ソースコンポーネントから送信されたデータを受信コンポーネントで受信し、
前記受信コンポーネントにアクセスできるデータタイプハンドラオブジェクト中に含まれる少なくとも１個のインタフェースを呼び出し、
前記呼び出されたインタフェースに対応付けられた少なくとも１個の命令を実行し、
実行された命令に基づいて受信データを処理することを特徴とする方法。
【請求項２】
請求項１に記載された方法であって、
さらに、モバイルコードを用いて、前記ソースコンポーネントから前記受信コンポーネントへ前記データタイプハンドラオブジェクトをダウンロードすることを特徴とする方法。
【請求項３】
請求項１に記載された方法であって、
さらに、前記受信コンポーネントで、前記ソースコンポーネントからデータ転送セッションオブジェクトを取得し、前記データタイプハンドラオブジェクトを前記データ転送セッションオブジェクトを用いて取得することを特徴とする方法。
【請求項４】
請求項１に記載の方法であって、
さらに、少なくとも前記受信コンポーネントと前記ソースコンポーネントに対する代理オブジェクトを取得し、少なくとも前記受信コンポーネントと前記ソースコンポーネントに対する前記代理オブジェクトに基づいて前記データ転送セッションオブジェクトを取得することを特徴とする方法。
【請求項５】
ソースコンポーネントと通信する受信コンポーネントを備え、
前記受信コンポーネントは、
少なくとも１個のインタフェースを有するデータタイプハンドラオブジェクトを保有し、
前記インタフェースは、
実行されたときに、前記受信コンポーネントを前記ソースコンポーネントから受信したデータを処理することができるようにする少なくとも１個の命令を保有することを特徴と

するシステム。
【請求項６】
請求項５に記載のシステムであって、前記データタイプハンドラオブジェクトを前記ソースコンポーネントから前記受信コンポーネントにダウンロードするのにモバイルコードを用いることを特徴とするシステム。
【請求項７】
請求項５に記載のシステムであって、前記受信コンポーネントは、複数のコンポーネントの一つから前記データタイプハンドラオブジェクトを取得することを特徴とするシステム。
【請求項８】
請求項５に記載のシステムであって、前記受信コンポーネントが前記ソースコンポーネントからデータ転送セッションオブジェクトを取得することを特徴とするシステム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明は、ソースコンポーネントから送信されたデータを受信コンポーネントで受信し、前記受信コンポーネントにアクセスできるデータタイプハンドラオブジェクト中に含まれる少なくとも１個のインタフェースを呼び出し、前記呼び出されたインタフェースに対応付けられた少なくとも１個の命令を実行し、実行された命令に基づいて受信データを処理することを特徴とする。
また、本発明の１つの態様では、前記受信コンポーネントは、少なくとも１個のインタフェースを有するデータタイプハンドラオブジェクトを保有し、前記インタフェースは、実行されたときに、前記受信コンポーネントを前記ソースコンポーネントから受信したデータを処理することができるようにする少なくとも１個の命令を保有し、さらに、前記受信コンポーネントが前記ソースコンポーネントからソース代理オブジェクトを取得し、前記ソースコンポーネントが前記受信コンポーネントから受信代理オブジェクトを取得し、前記受信コンポーネントが、少なくともソース代理オブジェクト及び前記受信代理オブジェクトに基づいて、前記データ転送セッションオブジェクトを取得することを特徴とする。